

1 活動名

千葉市介護支援ロボット貸与事業について

2 調査概要

(1) 目的

介護従事者の負担軽減について、他市の事業概要を知るとともに、その状況と課題を知るため。

(2) 調査の必要性

介護従事者の不足は、市の課題となっている。

(3) 調査項目

①介護支援ロボット貸与事業の内容と状況

3 調査地選定理由

千葉市では、介護現場で働く職員の負担軽減に効果のある「介護ロボット」(装着型の移乗介護機器)を施設へ一定期間貸出す事業を今年度開始した。

4 調査結果

(1) 実施日 平成30年8月6日

(2) 出席者 3名 近藤晴彦 上條美智子 勝野智行

(3) 結果

① 介護職の需給ギャップは加速度的に増加の予想。このところの有効求人倍率をみても、全産業と介護分野とでは2倍以上の開きがあり、今後差が広がっていくだろう。千葉県は、介護職員の採用率・離職率ともに全国平均を上回っている。特に1年未満の離職者は大幅に多い。介護職員の平均給与は、全産業と比べると10万円違う。

② 千葉市では、国の「介護ロボット等導入支援特別事業費補助金」を活用するなど76事業所が介護ロボットを導入している。しかしながら、まだまだ進んでいない現状がある。それは、職員の負担を軽減する部分はあるが職員の代替にはなり得ないこと。また、導入費用がまだ高額であり、導入効果が未知数な部分があることがあげられる。

③ 今年度、介護ロボットの普及を促し、腰痛による介護離職を防止するため、装着型介護ロボット(サイバーダイン社製「HAL」)2台を市が3年間賃借し、希望する2施設に無料で貸出す事業を開始。1年度1台当たり2施設、3年間で12施設に貸出す。貸出し施設は、市内に所在する介護老人福祉施設・介護老人保健施設。貸出条件として、見学会を開催し利用状況を公開することとしている。

④ 第1期に9施設が応募した。

⑤ サイバーダイン社からのリース料は、1台年間120万円。

(4) 成果・所感等

千葉市の事例を視察し、本市でも介護従事者確保のための政策を様々実施するべきと感じます。

5 政務活動費

(1) 使途項目 調査旅費

(2) 支出額 292,204円

(交通費 8,650 宿泊費 29,600 日当 9,000 航空運賃 45,790) × 3人
(タクシー代 7,900 土産用菓子代 5,184)

